

令和4年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 細 川 信 二

フロンティア秋田 小 林 一 夫

市 民 ク ラ ブ 安 井 誠 悦

共 産 党 鈴 木 知

公 明 党 武 田 正 子

秋 水 会 伊 藤 巧 一

市 民 ク ラ ブ 藤 枝 隆 博

秋 水 会 菅 原 琢 哉



## 1 外旭川地区まちづくり等について

(1) 事業パートナー選定プロポーザル審査委員会から報告を受けた審査結果報告における審査の総評、個別講評及び付帯意見について、市長はどう捉えているのか

(2) 新スタジアム整備について

ア 本市として、試合がない日の活用の検討は行っているのか、また、新スタジアムの採算性についてどう考えているのか

イ 事業パートナーから提案された建設費の県・市による資金支援について、最優秀提案者決定後、県との協議は行っているのか

(3) 産業振興について

ア 秋田商工会議所商業部会で開催した、同地区のまちづくりの説明会には多くの地元企業が参加しており、賛否は別として、参加した多くの企業がこの事業に関心を示しているが、この声をどう認識し、本市の産業振興を図っていくのか

(4) インフラ等の整備について

ア 都市計画道路横山金足線に接続させるため、都市計画道路泉外旭川線の延伸を早期に実施すべきではないか

イ 一般社団法人日本公園緑地協会が主催する都市公園等コンクールで受賞できるような公園をエリア内に造る考えはないか

ウ 民設民営であっても公共性の高い施設の整備に関しては、上下水道の整備費等を市として支援することはあるのか

エ 市が主導し、民間企業を事業パートナーとして迎える同地区のまちづくりに関しては、上下水道の整備も本市が行うことになると思うがどうか、また、その際に想定される整備費等は幾らと試算しているのか

(5) 多核集約型コンパクトシティとの関連づけや、モデル地区という考えをやめるべきではないか

(6) 中心市街地の活性化について

ア 同地区のまちづくりがこれから本格化していく一方で、これまで本市で進めてきた中心市街地の活性化の取組について、さらに強化すべきと考えるがどうか

イ 中心市街地における文化の創造に関する取組について、さらに強化すべきと考えるがどうか

## 2 教育について

### (1) タブレット端末の活用について

ア 今年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大時における、タブレット端末の活用状況はどうか、また、今後の活用に向けて、検討すべき課題等はなかったのか

### (2) 教育と地域の関わりについて

ア 同感染症の影響で学校と保護者、地域のつながりが弱まったように感じるが、その現状をどのように捉え、今後、どのように改善していくのか

イ スポーツ庁の有識者会議により、公立中学校の部活動の地域移行が提言されたが、地域の実情はどうか、また、提言に対する本市の考えはどうか、さらに、指導料などの想定される経費について市として支援する考えはないか

## 3 新型コロナウイルス感染症への対応等について

(1) 同感染症の感染歴のある市民へのワクチン3回目接種の有効性を市としてどう考えているのか、また、この状況において、有効性等の周知が全くされておらず、接種を迷っている市民が多いと思うことから、これらの周知をしっかりと行うべきではないか

(2) ワクチン接種証明と同様に、希望者に対して本市独自に罹患証明を発行する考えはないか

(3) 金融機関から融資の元本返済の猶予を受けている事業者が多くいるが、今年度以降、元本返済が本格的に始まることで不安を抱えていることを、市として把握しているのか、また、借換えなどによって、新

たに負担が想定される保証料等について支援する考えはないか

#### 4 エイジフレンドリーシティについて

##### (1) 高齢者コインバス事業について

ア エイジフレンドリーシティの周知のため、事業名称をエイジフレンドリーバス事業にすべきと考えるがどうか

イ 事業対象範囲を小中学生にも拡大すべきではないか

#### 5 秋田港周辺における津波対策について

(1) 避難困難地域である寺内地区の工場集積地域における津波対策の意見交換の実施状況、避難経路及び避難階段の検討状況はどうか

(2) 居住誘導エリアでありながら、津波浸水エリアでもある土崎港中央地区に、国の社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金等を活用し、防災拠点及び避難施設として土崎小学校を新築してはどうか

#### 6 除排雪について

(1) 地域情報員制度は大変有効であるが、町内会によって評価が分かれることから、その役割や行うべき業務をマニュアル等でより詳細に明文化するとともに、積雪が予想される日の出勤はフレキシブルにし、担当地域の巡回等に努めるべきと考えるがどうか



## 1 外旭川地区まちづくりについて

- (1) 外旭川地区まちづくり構想と本市が目指す多核集約型コンパクトシティとの整合性について、どのように考えているのか
- (2) 庁内でイオンタウン株式会社の提案内容における課題抽出を進めているが、現段階でどのような課題が挙げられているのか
- (3) イオンタウン株式会社が提案している場所に卸売市場、新スタジアム、大型商業施設等を整備する場合には、どのような行政手続が必要となるのか
- (4) 新スタジアムの整備に当たり、フィールド全体を屋根で覆う全天候型とし、可動式の天然芝ピッチを採用するという独創的な提案が、事業パートナー選定過程において高く評価されたことについて、本市はどのように受け止めているのか
- (5) 卸売市場と新スタジアムの整備以外に本市の財政負担は想定されるのか
- (6) 外旭川地区まちづくり構想において、若者が将来に希望を持ち、これからをこのまちで暮らしていきたいと感じられるような魅力あるまちをどのように実現していくのか

## 2 令和3年度包括外部監査結果報告について

- (1) 市町村における情報システム経費に関する秋田市との比較とベンチマークの設定が必要であるとの意見に対する認識はどうか
- (2) 秋田市情報システム調達マニュアルの全面的な改訂が望まれるとの意見に対する認識はどうか
- (3) 秋田市ホームページの情報セキュリティについて検討が求められるとの意見に対する認識はどうか
- (4) 入札における競争性の確保に努める必要があるとの意見に対する認識はどうか

### 3 データセンターの誘致について

- (1) 本市は、誘致に前向きな地方公共団体との意見交換会に参加しているが、どのような内容について話し合ったのか
- (2) 誘致の条件である再生可能エネルギーの活用や、敷地面積として必要な10ヘクタールの土地の確保は可能なのか
- (3) 誘致に向けた取組を今後どのように行っていくのか

### 4 バイオガス発電等について

- (1) 総合環境センターの溶融炉から排出される二酸化炭素の年間排出量と年間燃料費はどのくらいか
- (2) 事業系生ごみの処理をどのように行っているのか
- (3) 民間企業が家庭系生ごみを活用してバイオガス発電を行うとした場合に想定される課題は何か
- (4) バイオガス発電に対する本市の見解はどうか

### 5 米の消費拡大について

- (1) 米粉やパック御飯による米の消費拡大についてどのように考えているのか
- (2) 学校給食に有機米を使用する考えはないか
- (3) 米の消費拡大に向け、農業関係団体等と今後どのような協議を行っていくのか

### 6 森林の活用について

- (1) 市有林や民有林の再造林に対する本市の考えはどうか
- (2) 高齢化、後継者不足、小規模経営等により、森林の経営が困難な所有者に対してどのような支援を行っているのか
- (3) 路網整備や森林施業の集約化など、低コスト化に向けてどのような取組を行っているのか
- (4) 伐期に達している森林を有効に活用するため、今後どのような対策を講じていくのか

## 7 学校教育について

### (1) タブレット端末の活用について

ア 学校内でタブレット端末の管理をどのように行っているのか

イ 児童生徒がタブレット端末を使用する際にどのような約束事があるのか

ウ 通信環境が整っていない家庭に対してどのように対応しているのか

エ 学級閉鎖、学年閉鎖及び学校閉鎖時におけるオンラインを活用した授業や学習支援はどのようになっているのか

オ 教員のデジタル対応能力の向上とそれを身につけるための研修をどのように行っているのか

カ タブレット端末を常時家庭へ持ち帰ることができるようにすべきではないか

### (2) 小学校高学年の教科担任制について

ア 教科担任制の導入に向けた各校への教員の配置をどのように行ったのか

イ 教科担任制導入による現状をどのように認識しているのか、また、教員の負担軽減は図られているのか

### (3) 教員の働き方改革について

ア 市立小中学校の教員の時間外勤務の状況を把握するため、どのような調査を行っているのか、また、その実態はどうか

イ 市立小中学校の教員の時間外勤務削減に向けたこれまでの取組成果と今後の課題をどのように認識しているのか

ウ 市立中学校の休日運動部活動の地域移行における課題をどのように捉えているのか



1 外旭川まちづくりモデル地区整備事業について

- (1) 同事業と多核集約型コンパクトシティとの整合性について、市民に理解してもらえるよう、分かりやすい表現で説明するべきではないか
- (2) スタジアム建設には、民間の経験豊富な知恵が必要であるとともに、資金調達において民間の資金をできる限り活用するのは当然であるが、多くの人に利用される多機能複合型のスタジアムを建設するのであれば、行政が十分な資金面での補助を行うべきと考えるがどうか

2 中心市街地の活性化について

- (1) 秋田駅前北第一地区第一種市街地再開発事業の進捗状況、現状認識及び今後の対応について、本市としてどのように考えているのか
- (2) 中心市街地の活性化に資するように、木内百貨店の駐車場敷地を含めた施設等の活用について、所有者と協議してはどうか

3 本市の情報セキュリティーについて

- (1) 本市に対する外部からの不正アクセスやサイバー攻撃等の状況はどうか、また、攻撃を受けた場合の対応はどうか
- (2) 身代金を要求するランサムウェアによる被害が発生する可能性はないのか

4 若者の人材育成について

- (1) 将来の秋田を担う、国際性と個性を涵養しグローバルに活躍できる人材を育成するため、市内在住の高校生を対象とした海外留学事業やオンラインによる国際交流事業を行ってはどうか

5 中学生のスポーツ活動について

- (1) 学校教育の一環としての部活動と、競技力向上を目指す地域のスポーツクラブでは、生徒の競技に対する意識や技術力などに違いがある

と思われるため、共存には様々な課題があると考えられるが、そのことについてどのように認識しているのか

(2) 部活動の地域移行に関して、指導者の相互協力や施設の相互利用などについて、地域のスポーツクラブと積極的に連携する考えはないか

1 市民生活の安全・安心について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生後、本市では、感染予防や生活・経営支援、保健所の体制強化など、様々な対策に取り組んできたが、これまでの対応をどのように評価しているのか
- (2) 物価高騰による市民生活や地域経済への深刻な影響を想定し、物価高騰に関する実態調査と相談窓口の開設準備を進めてはどうか、また、市民の暮らしとなりわいを守るための支援策を早急に検討すべきではないか

2 まちづくりについて

(1) 秋田市総合都市計画とコンパクトシティについて

- ア 市長は、コンパクトシティの推進によってどのような課題が解決されると考えているのか、また、本市が目指す「暮らしの豊かさを次世代につむぐ持続可能な活力ある都市」のデザインをどう描いているのか
- イ 「コンパクトな市街地形成」を掲げた2001年3月策定の第5次秋田市総合都市計画から21年が経過したが、その成果はどうか、また、昨年6月に策定された第7次秋田市総合都市計画の特徴は何か
- ウ コンパクトシティの推進は中心市街地のみならず、それぞれの地域においても共通の方針であると市民は認識できているのか
- エ それぞれの地域の特色を生かした個性的で創造的な魅力あるまちづくりをより幅広い市民参加のもとで進めるべきではないか
- オ 地域課題の解決に向けた取組を推進するため、地域の拠点である各市民サービスセンターの機能を強化すべきではないか
- カ 各市民サービスセンターへのアクセス性向上のため、各市民サービスセンターを中心とした公共交通網を早急に整備すべきではないか
- キ 生産地と消費地が隣接しているという都市近郊型農業の特性を生

かしきれていないことから、これまで以上に都市部と農村部の連携を強化する取組が必要と考えるがどうか

(2) 中心市街地の活性化について

ア 秋田市中心市街地活性化基本計画の認定から14年になるが、これまでの成果と今後の課題をどう捉えているのか、また、にぎわいを定着させるために何が必要と考えているのか

イ エリアなかいちの商業施設の一部を市民が活用できるよう、秋田まちづくり株式会社に働きかけてはどうか

ウ 交流人口の拡大と商業施設へのアクセス性向上のため、駐輪場の増加と放置自転車の撲滅を目的に、秋田市自転車等の放置防止に関する条例の見直しを検討してはどうか

エ 芸術文化ゾーンの形が整ってきたが、どのような体制と取組により、芸術・文化によるまちおこしを推進していくのか

(3) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 事業パートナーの位置づけはどうか、また、事業パートナーは事業全体の実施主体となるのか

イ 泉外旭川駅が整備されたにもかかわらず、広大な駐車場は必要なのか

ウ 農業に関するモデル事業を行うのであれば、農地をそのまま生かした都市近郊型農業のモデルとなる事業を進めるべきではないか

エ 平成27年に行われた「秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想」の検証において、近隣市町村や有識者からは大規模商業施設による影響を懸念する意見が多かったことから、改めて意見聴取すべきではないか、また、同構想の検証においては、「現時点では、本市が進める「都心・中心市街地」と6つの「地域中心」を核とした持続可能な集約型の市街地形成の方向性とも整合しないと考えられる」とされていたが、市長の考えは変わったのか

オ モデル地区において、事業を行う期間はどのくらいを想定しているのか、また、モデル事業を行うことを目的として土地の用途等を変更するとした場合には、将来的に、他の目的に利用されることが

ないよう、一定の規制が必要と考えるがどうか

### 3 家庭ごみの減量について

- (1) 家庭ごみの有料化が始まって10年になるが、経済的動機づけは今でも働いているのか
- (2) 水切りと雑がみの分別による減量効果はどうか、また、家庭ごみ組成調査を行っているが、分類の比率に変化はあるのか
- (3) 減量目標480グラム達成にはさらなる市民意識の醸成が必要ではないか
- (4) プラスチックごみの分別収集の検討状況はどうか



1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策について

- (1) 市立小中学校、公立保育所、認定こども園、認可外保育施設等で給食費等を値上げせざるを得ない状況になった場合には、保護者の負担増を回避するため、値上げ分を支援してはどうか
- (2) 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業は、市県民税非課税世帯及び同様の事情にあると認められる世帯が給付対象となっているが、対象拡大と給付額の上乗せにより、生活困窮世帯への支援を拡充してはどうか
- (3) コロナ禍における市民生活を支援するため、ライフラインである水道料金及び下水道使用料の基本料金を軽減してはどうか

2 HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）積極的勧奨再開について

- (1) 昨年、国では、HPVワクチンの積極的な勧奨を再開したが、本市では、これまで接種勧奨の情報提供を行っていたのか、また、行っていたとすれば、その周知対象や周知方法はどうかであったのか
- (2) 定期接種対象年齢以外へのキャッチアップ接種について、本市はどのように考えているのか、また、同接種を実施する場合のスケジュール、情報提供の対象・周知方法、接種者数の見込みはどうか

3 保育士確保施策について

- (1) 国が保育士確保施策として行っている保育士宿舍借り上げ支援事業や保育補助者雇上強化事業について、若者の人口流出を防ぐためにも、本市でも事業の実施を検討してはどうか

4 聴覚障がい者の災害時における避難について

- (1) 避難所において、障がい者が必要な支援を受けられない事態を防ぐため、障がい者用バンダナの配付を検討してはどうか

(2) 避難所において、情報取得及び意思疎通を支援するため、イラストなどを入れたコミュニケーション支援ボードを備えてはどうか

5 障がい者向けアプリについて

(1) 障がい者向けアプリに本市も自治体として登録し、障がい者の利便性向上と市外からの誘客を図る考えはないか

6 次世代型学校 I C T 情報システムに係る令和 3 年度包括外部監査結果報告について

(1) 意見14について、教育を受ける機会の平等の観点から、教員の I C T 活用指導力チェックリストをどのように活用していくのか

(2) 意見15について、全ての児童生徒を対象にタブレット端末を家庭に持ち帰らせて学習に活用させることが望ましいと思うが、持ち帰りでできない理由は何か、また、万一故障してしまった場合の修理費等の負担はどうか

7 学校図書館における読書推進について

(1) 市立小中高等学校等の学校図書館では、国の学校図書館図書標準に照らし、蔵書冊数等の基準を満たしているのか、また、選定基準や廃棄基準を定め、その基準に基づいた本の刷新は図られているのか

(2) 秋田市子ども読書活動推進計画の進行管理と評価を行っているが、その主な内容と課題は何か、また、課題を踏まえた今後の取組はどうか

(3) 電子図書が子供たちへ与える影響をどのように捉えているか、また、今後の取組は何かあるのか

1 市長の政治姿勢について

(1) ロシアによるウクライナ侵攻について

ア 市として、ウクライナからの避難民を受け入れるべきであると考え  
えるが、市長が広報あきたのコラムの中で述べたような住宅や就労、  
就学を含めた避難民への支援の検討状況はどうか

イ 市民が、市長の避難民受入れの考え方に共感していることをどの  
ように捉えているのか

ウ 今年で30周年を迎えるロシア・ウラジオストク市との姉妹都市提  
携について、今後どのように対応していくのか

2 外旭川地区のまちづくりについて

(1) 同地区のまちづくり事業をスムーズに進めるため、事業パートナー  
や県をはじめとした関係機関等と協力していくことが重要であると考  
えるが、今後どのように連携していくのか

(2) 事業パートナーとして、イオンタウン株式会社と基本協定を締結し  
たことにより、今後、同地区のまちづくりが本格的に前進すると考え  
てよいか

(3) 県と工場建設に関する基本協定を締結していながら、工場進出の計  
画が撤回された大王製紙問題の二の舞とならないよう対策が必要と考  
えるがどうか

(4) 本まちづくり事業を本格的に進めるに当たり、事業推進に向けた市  
長の決意はどうか

3 市立小中学校におけるいじめ及び不登校について

(1) いじめ及び不登校の件数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大  
前と現在を比較し、どのように変化したのか、また、その要因をどの  
ように捉えているのか

(2) SNSなどのインターネット上におけるいじめ、嫌がらせ、誹謗中

傷などの書き込みをどの程度把握しているのか、また、把握した際は、どのように対応しているのか

#### 4 育児・介護休業法の改正に伴う本市の取組について

- (1) 市長は、男性が育児休業を取得することについて、どのように考えているのか
- (2) 市内の民間企業に対して、同法の改正内容について、どのように周知しているのか、また、民間企業における男性の育児休業の取得を促進するため、市として、さらなる取組を行うべきではないか
- (3) 令和3年度における本市男性職員の育児休業の取得率及び平均取得期間はどうか、また、男性職員が育児休業を取得した際、育児に戸惑わないよう研修を行うべきではないか

#### 5 防災について

- (1) 災害発生時に、迅速な初動対応を行えるよう、熊本県益城町が取り組んでいるような初動対応マニュアルを作成してはどうか
- (2) 水害対策ガイドブックや水害ハザードマップは分かりづらく、市民が理解することが困難であると思うが、水害発生時に市民は速やかに対応できると考えているのか
- (3) 浸水想定区域及び土砂災害（特別）警戒区域内にある要配慮者利用施設や医療機関などへ職員が訪問し、災害時訓練などの支援をすべきではないか、また、水害ハザードマップには、同区域内の要配慮者利用施設が記載されているにもかかわらず、ほとんど認識されていない事実をどのように考えているのか
- (4) 市内各所に掲示されている海拔表示板は、どのような場面で活用されるのか
- (5) 備蓄品におけるアレルギー対応食やペットフードなどの対応状況はどうか
- (6) 避難所でのプライバシー保護の必要性について、どのように考えているのか

## 6 地域の諸課題について

### (1) 雄和地域の観光資源について

- ア 石井露月生誕150年記念事業の具体はどうか
- イ 市内外に石井露月という偉人への理解を広めるため、広報あきたのみならずマスコミなどを通じて、さらにPRすべきではないか
- ウ 高尾山へつながる道路が狭隘なため、国道341号から分岐し、高尾山へ向かう林道を上り、国道341号を下りとして、一方通行にできるよう、県に働きかける考えはないか
- エ 高尾山への観光客を増加させるため、案内表示板の設置を含めた周辺環境を整備すべきではないか

### (2) 雄和中学校について

- ア 雄和小学校のスクールバスについて、ルートによっては乗車人員に余裕があるにもかかわらず、同中学校の生徒が利用できない理由は何か、また、同中学校の生徒も同小学校のスクールバスを利用できるよう検討すべきではないか
- イ 同小学校から同中学校へ進学する生徒が大幅に減少している原因をどのように捉えているのか
- ウ 同中学校の将来像をどのように描いているのか

### (3) 雄和地域の公立保育所について

- ア 雄和地域の公立保育所の今後の在り方について、どのように考えているのか
- イ 雄和市民サービスセンター内に公立保育所を設置するなど、同市民サービスセンターの有効活用の方法を検討すべきではないか

### (4) 秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」の令和7年度の改修に向けた工法、スケジュール等の検討状況はどうか、また、改修時期を令和7年度よりも早める考えはないか



## 1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 外旭川地区まちづくり事業パートナー選定プロポーザルにおけるイオンタウン株式会社の事業提案を受け入れることは、本市がこれまで進めてきた第7次秋田市総合都市計画のまちづくりの目標としている「市民生活を支える持続可能な多核集約型コンパクトシティの形成」に逆行する方向転換であったと考えるが、その背景には2021年の市長選挙を念頭に置いた政治的判断があったのではないか
- (2) 同社からの事業提案は、第7次秋田市総合都市計画において目指すべき将来都市構造としている「多核集約型コンパクトシティ」との整合性は取れるのか
- (3) 第14次秋田市総合計画基本構想及び第7次秋田市総合都市計画の地域別構想には、今後の秋田市のまちづくりを大きく左右する同事業提案の方針等が盛り込まれていないこととなるが、両計画を改定する必要はないのか
- (4) 本事業提案は、本市将来都市像を大きく左右することから、平成27年11月にまとめた「秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想」の検証について」で示したように、交流人口、地元消費者、雇用、税収、地元経済・商業、農業、インフラ整備、環境、まちづくり、広域的影響などについて多角的な調査を行い、専門家、市民からの意見聴取などを実施すべきではないか
- (5) 本事業提案に対しては、市民市場の経営者を含む中心市街地の商業者から秋田駅前及び中心市街地の商店街の空洞化を懸念する声があるが、モデル地区と中心市街地の共存共栄に向けた協議の場を設け、具体的な施策を提示していく考えはあるのか
- (6) 外旭川地区まちづくり事業は、卸売市場、新スタジアム、商業アミューズメント複合施設を三位一体で進めようとする開発事業であるが、本市が負担するインフラ整備の総額は幾らと見込んでいるのか、また、その負担割合と財源の考え方はどうか

(7) 本事業提案では、卸売市場の移転先及び新スタジアムの建設予定地は市街化調整区域として開発規制されているが、その評価はどうか、また、市街化区域への編入に向けた都市計画の変更や県への働きかけなどを、今後、どのように進めていくのか

(8) 同プロポーザルにおける最優秀提案者以外の事業提案の中にも、エネルギーの地産地消の促進を図る画期的な提案やデジタル田園都市国家構想に言及した提案などがあったと思うが、この提案を部分的に採用する可能性はないのか

## 2 新スタジアム整備及びブラウブリッツ秋田への支援について

(1) ブラウブリッツ秋田のホームゲームの観客動員数の推移は、新スタジアム整備の機運にも影響するが、これまでの観客動員数をどのように評価しているのか、また、市として観客数増加に向けたさらなる支援の考えはないか

(2) ブラウブリッツ秋田のホームスタジアムとなる新スタジアム整備に当たり、その整備の賛否、規模、設備の要望などを把握するため、市民意識アンケートを実施する考えはないか、また、地域団体・商工会・企業などを対象に市場価値ヒアリング調査などを実施する考えはないか

(3) 市民・県民が一体となって、ブラウブリッツ秋田を応援する機運の醸成を図る考えはないか

## 3 市立小中学校の教育現場でのICT導入による学びの環境等について

(1) 学校でのICTに関する環境整備の現状と課題は何か、また、その課題をどのように改善していくのか

(2) 家庭におけるインターネット環境の整備の現状と課題は何か、また、同環境整備に係る家庭への支援の現状と課題は何か

(3) コロナ禍における休校、学年・学級閉鎖時のオンライン授業の実施状況と課題は何か、また、不登校児童生徒へのオンラインでの学びの機会を確保するなど、オンラインによって学校と家庭をつなぐ取組は

どうか

- (4) 教職員の多忙化解消に向けて、校務のデジタル化の促進とICT活用に向けた人材支援の現状と課題は何か

#### 4 ヤングケアラー支援の促進について

- (1) 政府は、令和4年度から3年間を目途にヤングケアラーの社会的認知度の向上のための集中取組期間と定めているが、本市の取組は何か、また、本市における実態調査は、調査から実態解明、支援と改善に向けた取組が求められており、福祉・介護・教育機関が一体となった横断的な連携体制と支援の具体はどうか
- (2) 学校におけるスクールソーシャルワーカーをはじめ、関係機関等と学校との効果的なつながり・連携はどうか

#### 5 市民のスポーツ環境の整備について

- (1) 第4次秋田市スポーツ振興マスタープランにおいて、「市民ニーズに対応し、だれでも安全・快適に使用できるよう、生涯スポーツの拠点となる施設の整備・充実を図ります」としているが、スポーツ施設等の現状をどう認識しているのか、また、市民ニーズを具体的にどのように吸い上げ、どのように対応しているのか
- (2) 本市の軟式野球場において、暗渠整備と土の入替えを実施する考えはないか、また、雄和花の森野球場、河辺戸島野球場の両野球場の外野に芝を敷く考えはないか
- (3) 中高年齢者のスポーツ競技としてグラウンドゴルフの愛好者が激増しているが、郊外にグラウンドゴルフ場を設置していることから、中心市街地から近距離にも専用施設を設ける考えはないか
- (4) スケートボードは、特に若者の間でも愛好者が増加しているが、路上、公園、駐車場、公共施設などでパフォーマンスする機会が見受けられることから、中心市街地の公園・未利用地を活用し、スケートボードパークを整備する考えはないか、また、外旭川地区まちづくり事業において、アーバンスポーツ施設を整備する考えはないか

## 6 除排雪の見直しについて

- (1) 市民から寄せられた道路除排雪への不満をどう受け止め、今後の除排雪にどのように生かそうと考えているのか
- (2) 本市の道路除排雪における指揮命令系統について、初動体制の在り方を含めて根本から見直していく考えはないか
- (3) 除排雪委託業者の道路除排雪範囲を見直し、除排雪指示から3日以内に生活道路の除排雪が完了するよう、体制を整備する考えはないか
- (4) 除排雪委託業者以外にも地元の建設業者や団体・個人に対して委託するなど、除排雪の実施体制を見直す考えはないか
- (5) 市民の足である公共交通のバス路線の運休や迂回運行を防ぐため、一時的な通行止めを伴う除排雪を実施する考えはないか

## 7 小・中学校適正配置における諸問題について

- (1) 各地域でのスクールバスの運行については、どのように行うのか、また、保護者等に対して、バスの運行ダイヤやルートなどの説明は、どのように行うのか
- (2) 学校の統合に伴い、児童館までの距離が遠くなる児童もいることから、夏季・冬季等の長期休業中に児童館を利用する児童のために、バスを運行させるなど支援を行う考えはないか
- (3) 日新児童館は、狭隘かつ老朽化しているが、日新小学校の校舎等の改築に伴い、児童数に見合うよう、今後、同児童館の建て替えなどを実施する考えはあるか

## 8 開学10周年を迎える秋田公立美術大学について

- (1) 同大学の高度で専門性を発揮した美術教育・研究・実習活動などの事業展開について、本市のまちづくり、地域活性化、人材育成などの社会貢献に関して、どう評価しているのか
- (2) 同大学卒業後の就職、起業、作家活動などの進路状況とその評価はどうか

(3) 芸術文化ゾーンのさらなる事業展開のために、同大学との連携についてどのように考えているのか

(4) 同大学の工房や学生食堂の狭隘さが相変わらず指摘されているが、解消に向けた考えはあるのか、また、アトリエももさだ前の駐車場に、キッチンカーなどを導入し、飲食の場を拡充する考えはないか



1 千秋公園整備事業について

- (1) 大手門の堀の遊歩道の整備を、今年度は中土橋から出島まで実施するとのことであるが、それ以降の整備については利用状況等を踏まえて実施すべきではないか
- (2) お堀のボートの復活やポケットパークの活用についてどのように考えているのか

2 外旭川地区のまちづくり事業について

- (1) イオンタウン株式会社は、卸売市場オープンを3年後、その他を5年後と提案しているが、市としてこのスケジュールどおりの実施を目指すのか

3 国防における市長の考えについて

- (1) 憲法への自衛隊の明記と緊急事態対応の条文の新設について、市長の考えはどうか

4 教育の充実について

- (1) 憲法における教育充実の拡充について、市長の考えはどうか

5 ネット社会における教育環境について

- (1) インターネットに触れる初期段階での正しい情報習得のため、小中学生に対してどのようにICT教育を行っていくのか
- (2) 健康観察アプリを導入すべきと考えるが、導入に向けた検討はなされたのか

6 持続可能な農業について

- (1) 持続可能な農業への取組と、農林水産省の有機農業産地づくり推進の施策への本市の関わりはどうか

7 森林の活用等について

- (1) 森林環境譲与税の効果的な運用のため、本市ではどのように実施体制を整備しているのか
- (2) 本市の森林経営管理の方針と、林業の成長産業化の実現に向けた施策はどうか

8 特定健診とがん検診について

- (1) 特定健診及びがん検診を一体化してはどうか

9 除排雪について

- (1) 除雪時初期始動の権限は誰なのか、また、この決定条件の具体は何か、さらに、除雪の作業状況をリアルタイムで市民に分かりやすく伝えるべきではないか
- (2) 除排雪作業優先順位マップを各地区ごとに作成し、配布してはどうか
- (3) GISデータをはじめ、各種データの可視化等による除排雪作業業務を効率的に運用し、除排雪体制の強化を図るべきではないか

10 観光について

- (1) 来てもらう・泊まって食べて飲んでもらう重点的観光施策はどうか、また、県内の他自治体とのコラボレーションを検討してはどうか

11 タクシー券及び郵便切手類等の受払簿について

- (1) タクシー券や公用回数券、郵便切手受払簿の利用状況はどうか、また、これらの制度の廃止や受払簿における押印の廃止などを検討してはどうか

12 職員の私用自動車の使用について

- (1) 職員が公務時に公用車を使用できない場合には、他の交通手段を利

用するなど、私用自動車の業務利用は極力控えるべきと考えるが、職員の公務における私用自動車の使用状況はどうか、また、使用に当たって、自動車保険の加入の有無や自動車運転免許証の携帯など、チェックは十分に行っているのか

### 13 北部地域の諸課題について

- (1) 秋田火力発電所や大王製紙建設予定地であった土地の活用法について、本市としてどのように考えているのか
- (2) 秋田港アクセス道路（大浜上新城線）の整備について、現時点の進捗状況はどうか
- (3) 秋田港の外港地区と向浜地区を結ぶ臨港道路外港線を整備する計画について、現在の検討状況はどうか